



図書館だより

第6号 令和4年8月31日号



* 9月になります

夏休みも終わり明日から9月になります。もうすぐ重陽の節句、まだ暑い日が続きますが、秋の気配が次第に感じられるようになってきました。新型コロナウイルス感染症も予断を許しません。学校でも家庭でも何かと制約が多いこの頃、その上不安定な天気も続きます。ワクチン接種で体調を崩す人もいることでしょう。心身ともに無理せず、健康に気を付けて過ごしてくださいね。

月や星空の美しい季節、夜空を眺めたり、虫の音に耳を傾けたり、秋の夜長を先取りして読書にいそしんでみてはいかがでしょうか。

芥川賞・直木賞受賞作をはじめ新潮文庫や集英社文庫のおすすめ作品、映像化作品の原作など新刊も入っています。図書館に来て、ぜひ手にとってみてくださいね。



* 新着図書

書名	著者名
隷従への道	フリードリヒ・A・ハイエク
いじめ加害者にどう対応するか 処罰と被害者優先のケア	斎藤 環, 内田 良//著
戦争をしなくてすむ世界をつくる30の方法	平和をつくる17人//著 田中 優//編
四畳半タイムマシンブルース	上田 誠//原案 森見 登美彦//著
孤独なバツタが群れるとき 『バツタを倒しにアフリカへ』エピソード1	前野 ウルド浩太郎//著
詩のトリセツ 詩を読むチカラを身につける!	小林 真大//著
文学のトリセツ 「桃太郎」で文学がわかる!	小林 真大//著
これからの日本の論点 2022 日経大予測	日本経済新聞社//編
2時間でおさらいできる日本文学史	板野 博行//著
ハウ	斉藤 ひろし//著
君を愛したひとりの僕へ 僕が愛したすべての君へ	乙野 四方字//著
今夜、世界からこの恋が消えても	乙野 四方字//著
隠れの子 東京バンドワゴン零	一条岬
絶声	小路 幸也//著
よだかの片想い	下村 敦史//著
家族のあしあと	島本 理生//著
言の葉は、残りに	椎名 誠//著
地面師たち	佐藤 雫//著
威風堂々悪女	新庄 耕//著
不審者	白洲 梓//著
発注いただきました!	伊岡 瞬//著
吸血鬼はレジスタンス闘士	朝井 リョウ//著
ナポレオン ① 台頭篇	赤川 次郎//著
クローズアップ	佐藤 賢一//著
空をゆく巨人	今野 敏//著
まいんちゆずマン	川内 有緒//著
百舌落とし 上・下	北川 悠仁//著
しゃもぬまの島	逢坂 剛//著
君たちの日本国憲法	上島 菜緒//著
アタラクシア	池上 彰//著
本日はどうされました?	金原 ひとみ//著
義時運命の輪	加藤 元//著
神招きの庭	奥山 景布子//著
夢の島	奥乃 桜子//著
短編ホテル	大沢 在昌//著
学校の怪談 短編アンソロジー	集英社文庫編集部//編 大沢 在昌, 他//著
てのひらの未来	集英社文庫編集部//編 織守きょうや, 榎木理宇//著 村山 由佳//著

早朝始発の殺風景	青崎 有吾//著
乙女の教室	美輪 明宏//著
光媒の花	道尾 秀介//著
かわいい見聞録	益田 ミリ//著
幻夜	東野 圭吾//著
東京ロンダリング	原田 ひ香//著
ソウルメイト	馳 星周//著
アポロンの嘲笑	中山 七里//著
教団X	中村 文則//著
放課後レシピで謎解きを	友井 羊//著
うつむきがちな探偵と駆け抜ける少女の秘密	
ボーダーズ	堂場 瞬一//著
求愛	瀬戸内 寂聴//著
新編銀河鉄道の夜	宮沢 賢治//著
今夜、もし僕が死ななければ	浅原 ナオト//著
コンビニ兄弟 テンダネス門司港こがね村店	町田 そのこ//著
夜と少女	ギョーム・ミュツソ//著 吉田 恒雄//訳
生のみ生のままで 上・下	綿矢 りさ//著
琉球建国記	矢野 隆//著
神欺く皇子	三川 みり//著
ミッキーマウスの憂鬱	松岡 圭祐//著
冬の朝、そっと担任を突き落とす	白河 三兔//著
暇と退屈の倫理学	岡分 功一郎//著
謎のアジア納豆 そして帰ってきたく日本納豆	高野 秀行//著
センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン//著 上遠恵子//訳 川内倫子//写真
よまにゃハッピーノート	集英社文庫編集部
パリの空の下で、息子とぼくの3000日	辻 仁成//著
夜に星を放つ	窪 美澄//著
おいしいごはんが食べられますように	高瀬 隼子//著
数学の真髄 論理・写像	青木 純二//著
サラ金の歴史 消費者金融と日本社会	小島 庸平//著
荘園 墾田永年私財法から応仁の乱まで	伊藤 俊一//著
ゲンロン戦記 「知の観客」をつくる	東 浩紀//著
ジョブ型雇用社会とは何か 正社員体制の矛盾と転機	濱口 桂一郎//著
歴史修正主義	武井 彩佳//著
ヒトラー賛美、ホロコースト否定論から法規制まで	芝 健介//著
ホロコースト ナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌	橘 玲//著
無理ゲー社会	藤井 青銅//著
「日本の伝統」の正体	武田 一義//著
ペリリュー—楽園のゲルニカ 7~11	森 さやか//著
いま、この惑星で起きていること	
気象予報士の眼に映る世界	
森嶋外 学芸の散歩者	中島 国彦//著
曾國藩 「英雄」と中国史	岡本 隆司//著
哲人たちの人生談義 ストア哲学をよむ	國方 栄二//著
応援消費 社会を動かす力	水越 康介//著
しない。	群 ようこ//著

* 新着図書から

孤独なバツタが群れるとき

『バツタを倒しにアフリカへ』エピソード1 前野 ウルド浩太郎//著

第4回いける本大賞を受賞した名著が新書で登場! 著者は現在、バツタ博士としてアフリカでサバクトビバッタと格闘している。その模様は前著『バツタを倒しにアフリカへ』(光文社新書)に綴られており、本作は、それよりも前のバツタ博士になろうかどうか思い悩みつづ、修業に明け暮れた頃の著者に焦点が当たっている。まさに「エピソード1」。ひたすらバツタだけを見つめることに捧げた青年の織りなすエピソードに、わくわくすること間違いなしである。前作の表紙が派手だったことを反省し、筆者がこだわった表紙にも注目である。

